

ことばのうみ

Kotoba-no-umi



図書館の時間

高田 宏

図書館で過ごした時間を合算したら、どのくらいになるだろうか。

中学・高校のころはずいぶん多かった。日曜日に出かけるところは、たいてい図書館だった。夏休みはほぼ毎日、町の図書館へ行って、風通しのいい窓辺で読んできた。図書館で借りた本を持って神社の境内の木陰にねそべって読む日もあったが、冬休みは境内が雪に埋もれているので終日図書館にいた。朝食をすませると公民館のなかの図書館へ出かけ、昼食を食べに家に帰り、また図書館で夕食時まで本を読んでいた。半世紀ばかり昔、太平洋戦争後の数年間のことだ。図書館にいた時間は五〇〇〇時間を超えるかも知れない(高校時代は図書部員でもあったので、そのぶんも加えればもっと多い)。

大学でも、授業をさぼって図書館にいたことが多かった。友達と会って廊下へ出て話し込むこともあったが、膨大な量の本に囲まれている時間は、教室での時間とは別の、宝の山にいる幸福感にひたれる時間であった。

(作家)

